



トラストだより

公益財団法人 奥山保全トラスト会報 VOL. 22 / 2021. 11. 30



調査中、雨あがりのトラスト地で目の前に広がった雲海 愛知県東栄町トラスト地 (2021年10月31日 職員撮影)

信頼され、託される団体となるために

理事長 米田 真理子

冬紅葉が鮮やかさを増し美しい季節、朝夕はめっきり冷え込む様になりましたが、皆様におかれましては、お変わりなくご健勝のことと存じます。

「トラスト」には「信託」という意味が含まれています。「ナショナル・トラスト」とは、広く皆様のご寄付により、次世代のために公益の目的で財産を信託することは「国民の信託」とであるとすることで名付けられました。当財団のトラスト活動は、森林を購入して終わりではありません。残されたわずかな自然林においても、温暖化の影響で広葉樹が枯損する「ナラ枯れ」の現象が見られる地域が広がっており、当財団が所有するトラスト地でもその影響が見られるところもあります。自然植生の調査や野生動物の生息状況の調査も大事な事業の一環です。放置人工林による奥山の荒廃も見逃ごせない重大な問題ですので、トラスト地に含まれる一部人工林に関しては、地元の方やボランティアの方々にご協力いただきながら、天然林化の取り組みも続けています。

支援して下さる皆様の思いを形にするためにも、責任を持って保全・再生活動に取り組み、託された水源の森、生物多様性の森を次世代へ引き継ぎます。どうかトラスト地を「国民の財産」として次世代に継承していくためにも、当財団が目指す奥山水源の森のナショナル・トラストに変わらぬご支援・ご協力のほどをお願いいたします。

クレジットカードでの会費・ご寄附のお振込もできます！

ホームページから
お願いします。<https://www.okuyama-trust.org/>ご入会-ご寄附/

※太字部分は日本語入力です。

QRコードはこちら→



in 静岡県
浜松市天竜区

第7回トラスト地ツアー開催報告

動物たちに帰れる森を。奇跡の森の軌跡を辿る！

佐久間トラスト地概要

- ・約半分が天然林
- ・天竜川の源流域
- ・人工林部分を広葉樹林化するため活動中

▶トラスト地内の綺麗な紅葉の中で記念撮影

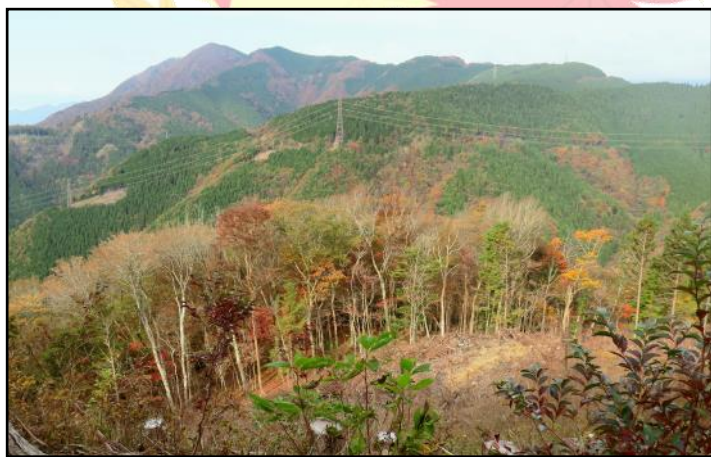


◀「動物や昆虫は人間の友達」
志村さんの思いがあらわれる看板



今回のツアーは、静岡県浜松市天竜区にある「渡邊士乃武自然保護区 佐久間トラスト地（297ha）」で開催。感染拡大防止のため、募集人数も例年より少なく、スタッフ含め15名で行いました。

当日は、トラスト地で10年以上ボランティアとして広葉樹林化活動を続けている志村 美佐子さんに、「森作りの名人である動物たちに、少しでも安心して過ごせる場所を」など活動の原点をお話いただきました。また、昨年から活動に加わった山路 淳さんに、チェーンソーによるヒノキの伐倒を実演いただき、狙った場所に木を倒す正確な技術に歓声が上がりました。トラスト地から北にある天竜の森（国際森林年記念林）で昼食。地元の方がご用意くださった温かい飲み物や栃餅もいただきながら、参加者同士和やかに懇親しました。



▲広大なトラスト地を一望



▲「ガイドの説明がリアルで素晴らしい」と好評！

午後からはトラスト地内の広葉樹林帯へ移動し、紅葉した森の中を散策しました。中には直径1mほどのブナもあり、林業が盛んな浜松市の中で残された貴重な広葉樹林の大切さを感じました。また事前に仕掛けておいた自動撮影カメラの映像を参加者と一緒に確認。クマやシカなどの野生動物が映っており、「おお～！」と場が湧きました。参加された方からは、「スタッフはもちろん、参加者の方も森と動物を守る熱意があり心に響いた」「ボランティアの方の生の声が聴けたのが良かった」など感想をいただきました。来年もトラスト地の魅力をお伝えすべく楽しいツアーを開催予定です。ご期待ください！

トラスト地管理資金等にご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
（口座名）公益財団法人 奥山保全トラスト